


しかはま自然観察会  『人も 自然も みんなともだち !』No.6	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台2-14-7 ☎090-7275-9890 2016, 8, 20~21
--	--

第6回活動「鬼怒沼登山」

出発から雨。登山口の女夫淵でお昼を食べて、雨具をつけて、いざ出発のときから小降りになりました。露天風呂に入っていると、カシオペア座がきれいに見えるようになってきました。

- 1, 日 時： 2016年8月21~22 (日) 一泊二日
- 2, 天 気： 21 (土) 強い雨
22 (日) 朝から快晴
- 3, 交 通： 電車・バス
自家用車
4. 場 所： ○女夫淵駐車場・登山口
○鬼怒沼高層湿原
- 5, 宿 泊： 日光沢温泉
Tel 0288-96-0316
一泊二食付 大人 8640+150 (入湯税)
子供 7020
昼食 540
- 6, 参加者：総数 24人
内訳 7家族 大人 8
中学生 4
小学生 9
スタッフ 3

7, 活動の様子

○ 一日目 (8月21日)

- 12:00・・・バス着、土砂降り、昼食
- 12:45・・・小雨の中を出発
- 13:50・・・ゴザ池の滝、雨具を脱ぐ
- 15:30・・・日光沢温泉に着く

小雨交じりの中を、ゆっくり3時間かけて歩いてきた。
 家族ごとに部屋に入り、まずは荷物整理。そして、
 雨に濡れた体に、温泉はありがたい。
 温泉は、湯ノ花のある高温。
 露天風呂は、一つは濁り湯、一つは透明。
 露天風呂は、子どもたちの社交場。

- 17:30・・・夕食
一人一人にお膳が運ばれてくる。
岩魚・クレソンの天ぷら・大根人参の煮物・冷や奴など
味のある料理が並ぶ。大広間の中で、家族ごとに座布団
にすわり「いただきます」。
他の客といっしょだが、この開放感がいい！
- 21:00・・・露天風呂に入ると、カシオペア座・北極星・夏の大三角
形が輝いていた。

○ 二日目（8月22日）

- 4:00・・・起床
露天風呂に入り、体を目覚めさせる。
天気は快晴、月も出ている！
- 5:00・・・出発
全員、朝食のお弁当・水・おやつ・雨具を持って、出発。
他の荷物は、宿の好意で置いていく。収納カゴが用意さ
れている。とてもありがたかった。
- 5:20・・・ヒナタオソロシノ滝展望台
朝日が、木の間から輝き始め、まぶしい！
- 6:05・・・オロオソロシノ滝展望台、1750^{ft}
朝食！
順調な登りだ。
- 7:05・・・木のテーブルのある休憩場
- 8:30・・・到着！2039^{ft}
鬼怒沼高層湿原の入り口に着きました。全員で記念写真！
木道を歩きながら、池やモウセンゴケそして山々を眺め
ました。天空の楽園のようでした！
- 9:30・・・下山開始。
濡れた大きな石は、滑りやすかった。
- 11:45・・・温泉に到着。お疲れ様でした。
荷物を整理したり、お昼を食べたり・・・。
- 12:35・・・温泉を出発。
いよいよバス停を目指します。
みんな疲れが出てきたのか、足音は鈍かった。
最後の鉄ばしごは、辛かった！
- 14:45・・・女夫淵に、到着！
健闘を称え合い、春日さんの発声で、全員で一本締め！
と、大粒の雨が？！
まるで、この山登りを称え、かつ清めてくれたよう！
- 15:25・・・バス発車。
いい夢をみながら、揺られました。
電車の中の反省会は、とても盛り上がりました。

8、親と子の、いきいき感想

- 山のぼりは、ころびまくってたいへんでした。そして、あしがいたくてたいへんでした。けしきが、きれいでした。

あしいたい つかれてむりだ たいへんだ

栗原北小2年

- 予想以上に、とてもつかれた。そして、宿に着いたあともつかれました。帰りは、下りが急で、足をひねりました。やっとなついて、休むとき、アブがたくさんよってきて、いやだった。

山登り 足がいたくて 登れない

第七中2年

- いがいに、とまるところがきれいだった。あしがいたい。水遊び、たのしかった。空気がうまい。つかれた。

足いたい がまんできずに あきらめた

鹿浜五色桜小5年

- 予想以上につかれた。こんなことはもうしたくないけど、たのしかった。一日目 ねずにのぼり つかれた

山登り 疲れた後は 露天風呂

上沼田中3年

- 空気がきれいだった。石がいっぱいあって、歩きづらかった。

ろてんぶろ あついけれども きもちいい

鹿浜五色桜小5年

- つらかったけど、たのしかった。

山のぼり つらくて足が いたくなる

鹿浜五色桜小4年

- しつ原はとても広くて、とてもきれいだった。下山するときは、足がいたかった。二日目は、道がぬかるんでいて、歩きにくかった。

しつ原は とても広くて きれいだな

鹿浜五色桜小5年

- がんばった。つかれた。足痛い。けど、楽しかった。

鹿浜菜の花中2年

- のぼりくだりどっちも、めっちゃきつかったです。ちょうじょうはとてもひろくてきれいでした。おんせんが、きもちよかったです。

きゅうなさか たいへんだけど のぼれたよ

鹿浜五色桜小4年

- 宿まで行くのにつかれましたが、温泉が気持ちよくて、つかれがふっとびました。朝は早かったですが、鬼怒沼についた時は、気持ち良かったです。下山後の雨も、タイミングは最高でした。

鹿浜菜の花中2年

- 山登りがとても大変でしたが、宿にとまってみると、温泉がとても良かったです。鬼怒沼についたときは、広くて感動しました。

先生の もう少しがね ちょうながい

鹿浜第一小6年

のらえもんが詠む

- 三人のおじさん集い席をとる「こんなの久しぶり」と笑い合う
- 北千住笑顔の友が集まってやっと安心朝食開く
- 家が飛ぶ田んぼも飛んで快速は雲を追い抜き光が届く
- バスの中どんどん進む山目指し窓に雨粒ワイパーが動く
- 登山口ますます強い雨の音お昼を食べて様子を探る
- とりどりの雨具を着ての記念撮り小雨になって少し安心
- いきなりの鉄の階段登るとき一歩一歩に雨具が引っ張る
- 鬼怒川にかかる吊り橋渡るとき22人の重さが動く
- ゴザ池の滝の下にて大休止雨具を脱いで汗を拭き取る
- 「まだですか」子らの声聞き「もう少し」八丁ノ湯で歓声上がる
- ここからの20分がきつかった15時20分着いたぜ宿に
- 奥山の木の香漂う宿に着き足を投げ出し湯ノ花に浸る
- 首を出し目を細める子どもらは露天風呂でも天使の振る舞い
- テキパキと客の対応四代目薪ストーブで暖を与える
- 家族ごとお膳を囲む夕食は岩魚塩焼きクレソン天ぷら
- 夜10時露天風呂から見る空にまたたく星がいくつも見える
- 朝5時の玄関前にはぎわいて月と日の出が元気をくれる
- 一人ずつ安全祈願手を合わす宿の近くの温泉神社
- ゆっくりと足をすすめる山の道木の間から朝日が届く
- 朝6時展望台のテーブルで朝飯食べるのらえもんたち
- 苔蒸した石と木道現れるもうすぐ着くとサインを送る
- なるほどねこれが高層湿原か2000mの天空広場
- 赤っぽいモウセンゴケにイワショウブ池塘に映る鬼怒の山々
- トンボ飛び黄色と黒のアブもいてかれらの世界人を恐れず
- 赤色のモウセンゴケが密生し池糖の水を守っているよう
- 数々の池糖の中に映る山草紅葉にまた来たくなる
- 木道の一番先に白根山後ろの燧と向き合っている
- 一滴の水をもためる泥炭化ふかふか緑のミズゴケの力
- 天空の散策終えて宿に着く記念写真に笑顔が満ちる
- 若人は走って渡る橋の上ようやく着いたバスの発つ場

* * *この鬼怒沼登山にあたり、事前に現地調査をしてきました。

- 日 時：2016年6月20～21日
- 参加者：春日、栗原、松下、古高
- 天 気：2日間とも晴れ